



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 日本高周波鋼業株式会社

コード番号 5476 URL http://www.koshuha.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河瀬 昌博

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 村越 久人 TEL 03-5687-6025

四半期報告書提出予定日 平成30年11月7日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	20,605	4.3	428	△42.3	460	△40.6	238	△61.6
30年3月期第2四半期	19,758	11.4	743	208.4	775	151.3	621	172.5

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 265百万円 (△62.2%) 30年3月期第2四半期 703百万円 (162.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	16.27	ー
30年3月期第2四半期	42.37	ー

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	46,610	20,868	44.8	1,423.81
30年3月期	44,297	20,822	47.0	1,420.69

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 20,868百万円 30年3月期 20,822百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	ー	0.00	ー	15.00	15.00
31年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
31年3月期(予想)	ー	ー	ー	ー	ー

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

※当社は定款において9月30日（第2四半期末日）及び3月31日（期末日）を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,500	10.3	1,000	△12.9	1,040	△19.0	490	△42.8	33.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	14,687,617株	30年3月期	14,687,617株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	30,918株	30年3月期	30,717株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	14,656,833株	30年3月期2Q	14,657,788株

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. 第2四半期決算概要	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は緩やかな回復基調が継続しました。輸出には持ち直しの動きに足踏みが見られたものの、企業収益は堅調に推移し、雇用や所得環境の改善が継続する中、各種政策の効果もあり、設備投資や個人消費が緩やかに増加しました。

こうした経済環境のなか、当社グループにおいては、需要は堅調に推移したものの、コスト面で原燃料市況の上昇の影響を受けました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高206億5百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益4億2千8百万円（前年同期比42.3%減）、経常利益4億6千万円（前年同期比40.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億3千8百万円（前年同期比61.6%減）となりました。

各セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔特殊鋼〕

輸出向け等で一部調整が見られたものの、自動車向け及び産業機械向けの需要が堅調に推移したことにより、前年同期並みの売上数量となりました。また、販売価格の改善が進展したことから、売上高は144億3千3百万円（前年同期比3.3%増）となりました。損益面では、販売価格の改善等はあったものの、原燃料コストの上昇等により、営業利益は7千6百万円（前年同期比80.4%減）となりました。

〔鉄鋼〕

トラック等の商用車向け及び建設機械向けの堅調な需要を反映して売上数量は増加しました。また、販売価格の改善が進展したことから、売上高は51億1千4百万円（前年同期比8.1%増）となりました。損益面では、原燃料コストの上昇等はあったものの、販売価格の改善等により、営業利益は3億6千9百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

〔金型・工具〕

自動車向けが堅調に推移したことにより、売上高は10億5千7百万円（前年同期比0.3%増）となりました。損益面では、売上構成の悪化及び固定費の上昇等により、営業損失は1千6百万円（前年同期は1千2百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の増加6千6百万円、たな卸資産の増加17億6千7百万円、流動資産のその他の減少2億6千万円等による流動資産の増加15億6千7百万円、有形固定資産の増加7億3千6百万円等により466億1千万円となり、前連結会計年度末に比べ23億1千3百万円増加しました。

負債合計は、支払手形及び買掛金の減少1億3千1百万円、電子記録債務の増加3億6千7百万円、短期借入金の増加11億3千8百万円及び長期借入金の増加9億8千5百万円等により257億4千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億6千7百万円増加しました。

純資産合計は、期末配当の実施2億1千9百万円や親会社株主に帰属する四半期純利益の計上2億3千8百万円等により208億6千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ4千5百万円増加しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2億6千9百万円減少し、2億3千7百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益3億7千万円、減価償却費8億7千万円、仕入債務の増加2億3千5百万円等により増加した一方、売上債権の増加6千6百万円、たな卸資産の増加17億6千7百万円等により減少した結果、4億3千6百万円の支出（前年同期は6億2千3百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主に有形固定資産の取得による支出16億3千6百万円等により、16億8千9百万円の支出（前年同期は9億6千万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

短期借入金の増加による収入11億7千1百万円、長期借入れによる収入11億5千万円により増加した一方で、長期借入金の返済による支出1億9千8百万円、配当金の支払額2億1千9百万円等により、18億5千6百万円の収入（前年同期は1億5百万円の支出）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績は重要な差異はありませんでしたが、当期末の業績予想については平成30年4月27日に公表した予想を下記の通り修正しております。

①当期末の業績予想

売上高	43,500百万円	（前回予想	43,500百万円）
営業利益	1,000百万円	（前回予想	1,000百万円）
経常利益	1,040百万円	（前回予想	1,040百万円）
親会社株主に帰属する 当期純利益	490百万円	（前回予想	620百万円）

②修正の理由

大規模設備投資に伴う特別損失等を見直した結果、親会社株主に帰属する当期純利益を修正しております。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	169	163
受取手形及び売掛金	7,984	8,050
製品	2,883	3,171
仕掛品	5,261	6,654
原材料及び貯蔵品	3,802	3,889
その他	543	283
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	20,634	22,202
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	7,102	7,608
土地	8,489	8,489
その他（純額）	5,660	5,890
有形固定資産合計	21,252	21,988
無形固定資産	95	165
投資その他の資産		
投資有価証券	1,153	1,155
その他	1,191	1,167
貸倒引当金	△30	△69
投資その他の資産合計	2,314	2,253
固定資産合計	23,662	24,407
資産合計	44,297	46,610

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,103	4,972
電子記録債務	3,334	3,701
短期借入金	5,579	6,718
未払法人税等	167	118
賞与引当金	501	507
廃棄物処理費用引当金	58	23
営業外支払手形	728	658
その他	1,997	1,914
流動負債合計	17,471	18,615
固定負債		
長期借入金	315	1,300
再評価に係る繰延税金負債	1,783	1,783
退職給付に係る負債	3,332	3,405
その他の引当金	83	94
その他	487	542
固定負債合計	6,002	7,125
負債合計	23,474	25,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,669	15,669
資本剰余金	1,139	1,139
利益剰余金	2,734	2,752
自己株式	△38	△38
株主資本合計	19,505	19,523
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	273	274
土地再評価差額金	1,360	1,360
退職給付に係る調整累計額	△316	△290
その他の包括利益累計額合計	1,317	1,344
純資産合計	20,822	20,868
負債純資産合計	44,297	46,610

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	19,758	20,605
売上原価	16,961	18,019
売上総利益	2,797	2,586
販売費及び一般管理費	2,054	2,157
営業利益	743	428
営業外収益		
受取配当金	27	31
受取賃貸料	37	38
受取保険金	1	—
その他	27	33
営業外収益合計	93	102
営業外費用		
支払利息	14	22
売上債権売却損	9	8
たな卸資産処分損	3	11
出向者人件費負担金	20	15
その他	14	13
営業外費用合計	61	70
経常利益	775	460
特別利益		
固定資産売却益	—	3
投資有価証券売却益	—	0
補助金収入	0	1
特別利益合計	0	5
特別損失		
固定資産処分損	81	93
固定資産圧縮損	0	1
特別損失合計	81	95
税金等調整前四半期純利益	694	370
法人税、住民税及び事業税	86	68
法人税等調整額	△12	63
法人税等合計	73	132
四半期純利益	621	238
親会社株主に帰属する四半期純利益	621	238

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	621	238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57	1
繰延ヘッジ損益	△2	—
退職給付に係る調整額	26	25
その他の包括利益合計	81	26
四半期包括利益	703	265
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	703	265
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	694	370
減価償却費	775	870
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	71	94
その他の引当金の増減額（△は減少）	6	10
売上債権の増減額（△は増加）	△610	△66
たな卸資産の増減額（△は増加）	△693	△1,767
仕入債務の増減額（△は減少）	395	235
その他	19	△69
小計	658	△320
法人税等の支払額	△34	△115
営業活動によるキャッシュ・フロー	623	△436
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△959	△1,636
利息及び配当金の受取額	27	31
その他	△28	△84
投資活動によるキャッシュ・フロー	△960	△1,689
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	139	1,171
長期借入れによる収入	210	1,150
長期借入金の返済による支出	△211	△198
リース債務の返済による支出	△8	△8
設備関係割賦債務の返済による支出	—	△16
自己株式の取得による支出	△0	△0
利息の支払額	△14	△22
配当金の支払額	△219	△219
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105	1,856
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△442	△269
現金及び現金同等物の期首残高	1,516	507
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,074	237

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首より適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	特殊鋼	鋳鉄	金型・工具	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,974	4,730	1,054	19,758	—	19,758
セグメント間の内部売上高 又は振替高	83	15	2	101	△101	—
計	14,057	4,746	1,056	19,860	△101	19,758
セグメント利益	389	341	12	743	—	743

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成30年4月1日至平成30年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	特殊鋼	鋳鉄	金型・工具	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,433	5,114	1,057	20,605	—	20,605
セグメント間の内部売上高 又は振替高	98	21	1	121	△121	—
計	14,532	5,135	1,058	20,727	△121	20,605
セグメント利益又は損失(△)	76	369	△16	428	—	428

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 第2四半期決算概要

平成30年10月30日
日本高周波鋼業株式会社

平成31年3月期 第2四半期決算概要

連 結

1. 当四半期の業績（累計）と通期予想

（単位：百万円、％）

摘要	当期 31年3月期 第2四半期	（対前年同期）		前年同期 30年3月期 第2四半期	通期予想 31年3月期
		増減額	増減率		
売上高	20,605	846	4.3%	19,758	43,500
営業利益	428	△314	△42.3%	743	1,000
経常利益	460	△314	△40.6%	775	1,040
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	238	△382	△61.6%	621	490
設備投資	1,697	223	15.2%	1,474	4,500
減価償却費	870	95	12.3%	775	1,850

2. セグメント別売上高・営業利益（累計）

【製品・サービス別】

（単位：百万円）

摘要	当 期		前年同期		増 減	
	31年3月期第2四半期		30年3月期第2四半期		売上高	営業利益
	売上高	営業利益	売上高	営業利益		
特殊鋼	14,433	76	13,974	389	459	△313
鋳鉄	5,114	369	4,730	341	383	28
金型・工具	1,057	△16	1,054	12	3	△29
計	20,605	428	19,758	743	846	△314

【海外売上高】

（単位：百万円、％）

摘要	当 期		前年同期		（対前年同期）	
	31年3月期第2四半期		30年3月期第2四半期		増減額	増減率
	売上高	連結売上高比	売上高	連結売上高比		
アジア	2,299	11.2%	2,401	12.2%	△101	△4.2%
その他の地域	102	0.5%	161	0.8%	△58	△36.3%
計	2,402	11.7%	2,563	13.0%	△160	△6.3%
連結売上高	20,605		19,758		846	4.3%

3. 経常利益増減益要因（前年同期比）

（単位：億円）

増 益 要 因	金額	減 益 要 因	金額
1. 販売価格改善	8	1. 原燃料コスト上昇	11
2. 売上数量・構成改善	1	2. 操業コスト	1
3. コストダウン	1	3. その他	1
計 (A)	10	計 (B)	13
		差引 (A)-(B)	△3